

伊藤病院だより
SUMMER

Voice

2012年6月1日発行 第38号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



山陽堂書店の壁画「傘の穴は一番星」

伊藤公一院長が橋本賞を受賞しました

3月10日に東北甲状腺懇話会(岩手県盛岡市で開催)にて、伊藤公一院長が「橋本賞」を受賞いたしました。

橋本賞は、橋本病の発見者である橋本策博士の偉業を称え、学会で提唱された称号であり、甲状腺疾患の研究・診療で活躍した医師が、毎年3月に表彰されます。今年、この栄誉を伊藤公一が受け「伊藤病院における甲状腺疾患への取り組み～過去・現在・未来～」を演題とし特別講演を行いました。

なお、1989年には伊藤國彦名誉院長も同賞を頂いており、親子2代にわたる受賞となりました。特に今年には橋本博士の論文発表から100年を迎える節目の年であります。記念すべき年度に大きな栄冠を得たことは、病院としても身に余る光栄でございます。

受賞を糧に「甲状腺を病む方々のために」ますます研鑽してまいります。



気管食道科学会で講演しました

2月26日に開催されました第22回日本気管食道科専門医大会(獨協医科大学・平林秀樹教授主催)にて、伊藤公一院長が特別講演を行いました。

学会には耳鼻咽喉科、食道外科、

気道内科、アレルギー科、麻酔科、小児科、放射線科、形成外科など、幅広い診療科のうち頸部の疾患に携わる医師が参加し、学術情報の交換を行っております。

伊藤公一院長は「気管食道科医の先生方を知って頂きたい甲状腺疾患～専門病院における診療の実際～」をテーマに特別講演を行いました。以前には伊藤國彦名誉院長が講演を行っております。

参加された先生方に甲状腺疾患に対する知識を深め、関心を持って頂ければ幸いに存じます。



伊藤公一院長が筑波大学大学院で講演しました

伊藤公一院長は、筑波大学大学院の非常勤講師を務めており、毎年同大学院で講義を行っております。

今年も、「伊藤病院における副甲状腺疾患診療」をテーマとして、4月14日に講義を行いました。

年を重ねるごとに受講者も増加しており、今年も医学生のみならず関連領域に携わる医師も参加され、副甲状腺疾患の実際の診療実績について皆さん大変熱心に受講されておりました。

当日参加できなかった方もご覧になれるよう、講義は録画されてEラーニングにも利用されております。



第12回臨床検査業務委員会報告会

伊藤病院 臨床検査室室長 宮崎直子

3月7日に、全国病院経営管理学会の臨床検査業務委員会が「強みを活かせる臨床検査室を構築するために」をテーマに第12回目の報告会を開催し、同委員会の幹事を務める当院臨床検査室の宮崎も参加しました。

臨床検査業務委員会は2000年に全国病院経営管理学会の一委員会として発足し、臨床検査室を管理運営する臨床検査技師と共に臨床検査室のマネジメント向上を目的として、さまざまな検討をおこなっている委員会です。伊藤公一院長は同委員会の立ち上げ以来、12年間委員長を務めております。

毎年、臨床検査室の運営に関わるテーマを設定し、そのテーマについて学会会員施設を中心にアンケート調査を実施しています。その調査結果や分析結果を報告会で発表し、臨床検査室の運営について提言をおこなっています。

今回の報告会では、臨床検査技師であり医療法人 鉄蕉会 医療管理本部臨床検査管理部長 亀田総合病院・クリニック臨床検査部長の大塚善人氏より「強みを活かせる臨床検査技師を育成するために」をテーマに特別講演があり、104名の参加者と人材育成についてディスカッションを交えながら検討しました。



◆福島県の県民健康調査に協力します

福島県では東日本大震災当時18歳以下だった全県民に対して甲状腺超音波検査を実施しています。また福島県外に避難している方々にも甲状腺検査を受けやすい環境を整え安心して検査を受診できるように、全国都道府県に検査拠点病院を置くことになりました。その検査拠点病院のひとつとして当院が推薦されました。

現在、福島県に対し検査拠点病院としての申請をしております。

◆福島県南相馬市立総合病院、いわき市の常磐病院から臨床検査技師の研修を受け入れております

当院では福島県南相馬市の南相馬市立総合病院、福島県いわき市の常磐病院から甲状腺超音波検査を中心とした臨床検査研修の依頼を受け、本年1月から南相馬市立総合病院臨床検査科の嶋田里子さん、丸山明久さん、富田祥平さん、4月より常磐病院臨床検査課の志賀香さんの研修を受け入れております。Voice前号でご紹介しました嶋田さんに続き、丸山さん、富田さんからごあいさつをいただきましたので、ご紹介します。

南相馬市立総合病院 臨床検査科 丸山明久

今回、当院の甲状腺エコー技術構築のために1ヶ月間お世話になりました。

毎日が驚きの連日であり、患者様の受付から検査・終了までの病院システム構成、そして、接遇の徹底に感心をいたしました。

また、甲状腺エコーのレベルの高さ、業務量の多さにも感心いたしました。そんな中、親切・丁寧に指導していただき感謝致します。

伊藤院長先生には、研修機会を設けていただき、深く感謝致します。そして、病院スタッフの皆様、大変お世話になりました。

今後、長期にわたり子供の甲状腺エコーをフォローしていくこととなりますが、研修中に学んだ技術を当院の甲状腺検査に、邁進していきたいと思っております。

最後に、長崎・広島が復興したように南相馬も復旧・復興に微力ながらがんばっていきます。



丸山明久臨床検査技師

南相馬市立総合病院 臨床検査科 富田祥平

まず今回の研修に関して御礼を申し上げます。ひと月という長い期間お世話になり、ありがとうございました。さまざまな点でご配慮頂き、何不自由なく、楽しく過ごすことができました。

東日本大震災及び原発事故により、私は一時東京に避難し、2週間ほどで地元へ戻りましたが、病院自体に大きな被害はありませんでしたが、患者数の大幅な減少により先行きの見えない不安な日々を送っていました。そのような中で、これから先必要になるであろう甲状腺エコー研修の機会を頂き、参加することができました。伊藤病院で学んだ技術を南相馬に持ち帰り、磨き、伝え、故郷の復興に役立てたいと思っています。

繰り返しになりますが、この度は誠にありがとうございました。



富田祥平臨床検査技師

◆鈴木医師が感謝状をいただきました

当院外科鈴木章史医師は母校の「自治医大医学部同窓会東日本大震災支援プロジェクト」の一員として、昨年4月岩手県釜石市の県立釜石病院で医療支援をしてまいりました。このたび、その被災地支援に関し日本医師会から感謝状をいただきました。

「伊藤病院のスタッフのバックアップがあり、支援に行くことが出来ました。このような感謝状を頂き、ありがとうございました。」(鈴木)



鈴木章史医師

◆「震災後の福島県における小児甲状腺の超音波検査」の勉強会が開催されました

福島県立医科大学器官制御外科学講座教授で福島県の県民健康管理センター臨床部門副部門長を務める鈴木眞一先生に職員勉強会で講演をしていただきました。鈴木先生は東北地方の甲状腺疾患診療の第一人者で、実際の診療に携わりながら研究を進められております。昨年の東日本大震災後には福島第一原発事故による健康被害への対策に努められる一方、県内各地で講演され放射線への正しい理解を広めて風評被害の防止にご尽力されました。

今回の講演では、健康調査の意義、小児の超音波検査の進捗状況などを福島原発事故とチェルノブイリ原発事故との違いを交えてご説明いただきました。

今後も甲状腺疾患専門病院として引き続き支援活動を行ってまいります。



鈴木眞一先生

第85回日本内分泌学会学術総会

伊藤病院 内科 國井葉

さる4月19日から21日まで名古屋国際会議場にて第85回日本内分泌学会学術総会が開催されました。これは、甲状腺にかぎらず体内のバランスを司るホルモン(血圧、成長、肥満など)全てについて、まだ研究段階の治療や有効な治療方法、新しい検査方法などを発表する場です。この学会は、日本の内分泌学会の中で最も規模が大きく、大学病院の教授も必ず参加をするものです。

甲状腺に関する、発表は全体6分の1程度しかありませんが、甲状腺疾患に興味のある医師も多く、シンポジウムでは立ち見が出るほどでした。今回、一般演題の発表として北川診療技術部長、向笠内科医長、大江医師、松本医師、吉原医師、岩久医師そして國井が参加をしました。

秋の甲状腺学会と並び、この内分泌学会学術総会にもできる限り参加し、最新の知識を得よう務めています。



北川 亘 診療技術部長



向笠 浩司 内科医長



吉原 愛 医師



岩久 建志 医師



國井 葉 医師

演題名	発表者
甲状腺細胞診ベセスダシステムと甲状腺癌取扱い規約との比較検討 未治療バセドウ病においてTRAbは甲状腺関連眼症の重症度を反映しない	北川 亘 向笠浩司
ダウン症候群に発症したバセドウ病の転帰 全自動測定装置による診療前検査としてのATD中止時TRAb値がバセドウ病の寛解、再発の予知に有用か	大江秀美 松本雅子
バセドウ病131I 内用療法後の患者においては産後無痛性甲状腺炎の頻度は少なく、TRAb上昇をきたしても再燃をきたしにくい ECLusys FT3、FT4、TSHの小児参考値の検討	吉原 愛 岩久建志
バセドウ病に合併した心房細動の治療	國井 葉

第13回アジア内分泌外科学会で発表しました

伊藤病院 外科 ヘイムス規予美

3月26日から28日にシンガポールで開催された第13回アジア内分泌外科学会で、矢野医師とヘイムスが発表してまいりました。

この学会は1988年に第一回が行われてから、2年ごとに開催されています。アジアのみならず、オセアニア、北欧、東欧のあらゆる国々からの発表がありました。演題は甲状腺、副甲状腺の他にも、副腎、すい臓に関するものも多数集まりました。各国での甲状腺癌に対する治療方針の違いが、地域の医療状況からも生じていることがよくわかりました。また、甲状腺疾患に対するロボットを用いた手術症例を着々と増やしている施設があることに驚きました。



矢野由希子 医師

今回の学会で私は甲状腺内にできる非常に珍しい種類ののう胞(液体が溜まって袋状になったもの)について発表してきました。胎生期に魚類の「えら」に相当する鰓嚢(さいのう)というものがあり、お腹の中での発達の過程で甲状腺に迷い込んでしまい、おとなになってから液体を蓄えて袋状が大きくなっていきます。この特殊なのう胞(良性)は手術前に診断をつけるのが大変難しいものです。福島原発事故が生じて以来、小児の受診患者数が当院でも多くなってきたため、小児の甲状腺の超音波画像を診させて頂く機会も多くなって来ました。大きくなっていない段階でこの種類ののう胞を発見する機会も多くなるかもしれません。

渋谷外科医長が日本核医学会で講師をつとめました

伊藤病院 外科医長 渋谷 洋

4月26日～28日に江戸川区で第12回日本核医学会春季大会が開催されました。私が依頼を受けたのは「 ^{131}I (1,110MBq)による残存甲状腺破壊(アブレーション)の外来治療における適正使用に関する講習会」の講師です。



アブレーションは甲状腺がん全摘後、気管に僅かに残っている細胞レベルの甲状腺を放射性ヨウ素の放射線の力によって破壊する治療です。これまでは入院が必須でしたが、2010年11月より条件を満たせる患者様であれば、外来での治療も可能になりました。一方で、治療中に家族や周囲の人への放射線被ばくを防ぐため、外来で実施するためには各施設で医師と放射線技師それぞれ1名以上がこの講習を受講することが必須条件となっております。外科医の立場からの本治療について、約40分の講義を行いました。外科の分野のみならず、核医学の分野でも甲状腺専門病院で働く医師としての職責をひとつ果たしました。

当院はもちろんですが、大須診療所でも外来アブレーションを実施しております。

北川亘診療技術部長が台湾内分秘外科学会で講演を行いました

伊藤病院 診療技術部長 北川亘

3月3日、台湾で台湾内分秘外科学会のシンポジウムが開催されました。

特別講演で「Clinical experience of new energy device at ITO hospital, Japan(伊藤病院での新しいエネルギーデバイスを用いた臨床経験)」をテーマに発表いたしました。日本での甲状腺診療の現状や甲状腺専門病院としての当院の診療実績、また新しい手術機器を用いた甲状腺手術をビデオ提示しながら紹介いたしました。講演後、台湾内分秘外科学会理事長張子明教授をはじめ、多数の台湾の医師と活発なディスカッションが行われました。

当院では以前より最新の手術機器を積極的に取り入れております。従来手術より手術時間の短縮や出血量の減少を可能にできる新しい手術機器を用い、今後も患者様に負担の少ない手術に取り組んで参ります。



台湾内分秘外科学会理事長 張子明教授(右)と北川亘診療技術部長(左)

第43回 伊藤病院研究会

2月25日(土)に43回目となる伊藤病院研究会を開催いたしました。この研究会は全国の甲状腺疾患診療をされている先生方をお招きし、当院の臨床研究の成果を発表するものです。

今年も会場には医師を含めて230名が集まる中、吉原愛医師より「パセドウ病と奇形」、大桑恵子医師より「伊藤病院における過去34年間の副甲状腺疾患の臨床経験」の発表を行いました。両発表とも、当院の長年積み重ねてきた臨床実績と日々の研究成果をまとめたもので、今後の診療に活かしてまいります。



吉原愛医師



大桑恵子医師

第5回伊藤病院フォーラムを開催しました

職員の研究発表会である伊藤病院フォーラムも今年5回目を迎えました。4月7日に開催し、146名が集まりました。発表された7演題のうち、4演題が接遇向上をテーマとした発表であり、参加者も今後の業務に活かすべく他部署の取り組みに積極的に質疑を行いました。

投票の結果、下記が優秀演題に選出されました。



最優秀演題

「接遇マナー向上に向けた医室の取り組み」(医室室)

優秀演題

「ISOを利用した当院の品質改善への取り組み～職種間の連携を強化した内部監査について～」(ISO事務局)

「SPECTを用いた、副甲状腺機能亢進症の検査方法」(放射線検査室)

患者様から感謝状を頂きました。

伊藤病院 広報室 テイクン

皆さん！海外に行って病院にかかったことはあるでしょうか？

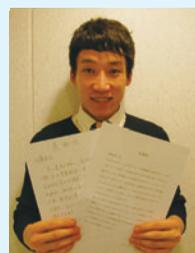
当院にもたくさんの海外の方が受診にお見えになっています。しかし、一般の会話はできても、実際受診する時医師が言ったことや、患者様がお伝えしたいことなどをうまく表現できない時もしばしばあると思います。そのような方々のために、私は去年3月に入職させていただきました。

私が担当しているのは中国語と韓国語の通訳です。今回初めて患者様から感謝状をいただき、大変うれしく大きな励みとなりました。まだ不十分のところばかりの私にとっては今以上に頑張っていかなければならないと改めて決心しています。

これから増え続ける外国の患者様のために、患者様の立場になってより安心して満足出来る医療通訳をご提供するため、「伊藤病院」の顔になって頑張っていきたいと思っております。

当院では無料で中国語と韓国語の通訳をご提供しております。必要な場合はご遠慮なく総合受付までお問い合わせください。

それでは、これからもよろしく願い申し上げます。



モスクワMHTCに参加しました

伊藤病院 広報室 テイクン

当院は5年前からメディカルツーリズムに積極的に取り組んでおりますが、今回は3月21日から24日までロシアで開催されたモスクワMHTC(Medical&Health Tourism Congress)に参加して参りました。

今回開催されたMHTCには世界各国の医療機関約80箇所施設から参加され、それぞれの専門分野をご紹介いたしました。

ロシアの医療は国民が望んでいる程進んでいないことが一番の悩みだそうです。特に診断がついたとしても、医療設備の多くが先進国と比べ劣っているため、わざわざ海外に受診に行く傾向が増えているそうです。今回の目的も日本だけでなく世界各国の先進医療をより多くのロシアの方々を紹介するために開催されました。

当院では展示会に向けてロシア語のホームページを追加し、更に甲状腺疾患に関する様々なリーフレットをロシア語に翻訳し、会場でお配りした結果、毎日約200名前後の方々がお集まりいただき、熱心に説明などをお聞きになりました。

ロシアでも甲状腺疾患についての関心が集まる中、日本の先進医療をうけるため、治療などを希望して日本に行きたい方が著しく多かった事が明らかでした。しかし、質問された皆さんが一番気にかけていたことが、医療通訳のことでした。当院には3月初旬にもロシアから直接治療を受けるためにいらした患者様もあり、すでに取り組んでいた海外から問い合わせの窓口(英語、中国、韓国語)以外に新たにロシア語の窓口も増設しました。より多くの海外の甲状腺を病む方々のために医療提供するための体制を整えていたので、来場の皆さんが一安



カザフスタンから視察にいらっしゃいました

4月26日にカザフスタンより医療関係者が当院の視察にいらっしゃいました。院長・薬剤師など20名の視察団に対し、当院が昭和12年の開設以来、ひたすら甲状腺疾患の診療に取り組んできたことや、診療実績などをご紹介し、続いて当院における診療について丁寧に説明しました。

カザフスタンはロシアや中国と接する中央アジアにありますが、旧ソ連が実施

した大気圏核実験の影響による被爆者がいらっしゃいます。そのため、がんに対して大変関心が高く、甲状腺がんの診断・治療に対して多数の質問が寄せられました。当院で行っている手術やアイントープ検査・治療の説明に加え、実際に院内も見学していただきましたが、設備や院内の取り組みにも大変熱心に伺われておりました。

この視察がカザフスタンの医療や甲状腺疾患に苦しむ方の一助になりましたら幸いです。



心してお帰りいただくことができました。その上に、是非日本に行つて甲状腺専門病院の診療をうけてみたいという声も多かったです。

これから、海外から受診に来る外国の患者様も徐々に増えてくると思いますが、安心してご受診出来るようもっと力を入れてまいります。

表参道寄り道スポット

渋谷 Hikarie

1 956年に開業した東京・渋谷の東急文化会館跡に、2012年4月26日、渋谷駅直結の高層複合施設「渋谷ヒカリエ」がオープンしました。

都内初のプラネタリウムや画期的な大劇場「パントオン」をはじめとした複数の映画館などで構成され、最先端のライフスタイルを提案してきたかつての東急文化会館のDNAを引き継ぎ、中層部の文化施設には約2,000席の本格的ミュージカル劇場、イベントホール、才能あふれるアーティストの表現の場「クリエイティブスペース」を設置しています。

地上34階、地下4階の高層複合施設で、鉄道8路線が乗り入れる日本有数のターミナルである渋谷駅東口に位置する「渋谷ヒカリエ」は、変化し続ける渋谷の街のシンボルタワーとして、「新たな価値を創造、発信していくブラットフォーム」になることをめざしています。また、東急東横線・東京メトロ副都心線渋谷駅(2012年度相互直通予定)とは地下3階で直結するなど、街の交通結節点としての利便性を高めるとともに、周辺街区との回遊性や賑わいの創出を通じて渋谷の街全体の活性化を目的とした計画であることが特徴です。

「日本一訪れたい街」渋谷をめざすというコンセプトで展開される「渋谷ヒカリエ」のメインターゲットは20～40代の女性。とはいえ、男性も楽しめる施設や店舗も数多く揃っています。是非一度お立ち寄りになってみてはいかがでしょうか？



Shibuya Hikarie BUILDING BRIEF	
17-34	OFFICE
11-16	TOKYU THEATER Orb Sky Lobby
9-10	Hikarie Hall
8	8 / Creative Space 8 /
6-7	Café & Restaurant
b3-5	ShinQs
11F	東急シアターオーブ/カフェ&レストラン/LAWSON
8F	COURT/CUBE1 2.3/ART GALLERY/d47 MUSEUM/d47 design travel store/d47食堂/Creative Lounge MOV
7F	TABLE7 (カフェ&レストラン) dining6 (カフェ&レストラン)
5F	ライフスタイル雑貨 カジュアルファッション/トラベルサロン/チケットサービス&タウン情報
4F	キャリアファッション
3F	ファッション雑貨/東急シアターオーブ チケットカウンター
2F	ビューティ&ファッション雑貨
1F	コスメティック&ビューティ
B1F	スイーツ・ベーカリー・ワイン/フードコンシェルジュ (ギフト・商品券・ビール券)
B2F	ナチュラルマーケット/デリカテッセン/TOP&Clubカードカウンター
B3F	

ShinQs (B3-5F)

地下3階から5階までのショッピングエリアには、約200の売り場・ショップがオープン。そのうちの7割以上が渋谷初出店になります。

◆地下3～地下2階：本格的なおいしさを追求し、毎日見て、食べて楽しめる、そして好奇心が満たされるフードフロアです。地下2階には、39歳でミシュランの三ツ星を史上最短記録で受賞し、「今世紀最高の料理人」とも称されるジョエル・ロブション氏による世界初のプランジュリー専門店<ルパン ドゥ ジョエル・ロブション>がオープンして今なお行列が絶えません。

◆地下1～地上1階：上質感のあるコスメティックはもちろん、セルフコスメやビューティ雑貨、そして本格的ながらも気軽に利用できるビューティサービスまでご用意した、これまでないトータル・ビューティフロアです。SABONやコスメキッチンなど、ナチュラル&オーガニック商品のお店が多数揃います。



◆地上2～地上5階：2階「ファッション雑貨」、3階「キャリアファッション」、4階「カジュアルファッション」と、フロア別にテーマがあり、トレンドやシーズンを先取りするバイヤーの独自セレクトによる売り場や、いま注目の雑貨ショップをラインナップしています。

5階は毎日の生活を豊かにするライフスタイル雑貨、クッキング・ダイニング用品、カルチャーグッズなど、自分のための時間、空間を大切にしたい人たちのためのフロアです。男性にも喜ばれるデザイン性や使い勝手にこだわったアイテムを幅広く揃えています。

CAFÉ & RESTAURANT (6・7F) ※2フロア26店舗

dining6(ダイニングシックス)：話題のキーレストラン、世界各国の料理店、老舗の名店。お客様が名指しでお目当てにしてくれるお店ばかりを13店舗集めて、リーズナブルに提供しているフロアです。

TABLE 7(テーブルセブン)：明日に向けた元気が希望が生まれる、「明日が見つかる食のフロア」。新しいエネルギーが生まれる「場」としての楽しさを提供しています。

Creative Space 8 / (8F)

クリエイティブな才能を社会につなぐことを目指した複合スペースです。約170㎡の多目的スペース「コート」を中心に、ミュージアム・アートギャラリー・ワークスペース、渋谷の街を一望できるカフェ、デザインショップから構成されます。

47都道府県をテーマにしたショップ、カフェレストランが注目ポイントです。

◆d47 design travel store (ディ ヨンナナ デザイントラベルストア)

d47 Museumに併設するショップ。日本のクラフトや物産を、作り手と想いを紹介しながら販売します。日本中のデザイン情報が集まる場所を目指します。



◆d47食堂 (ディ ヨンナナ ショクドウ)

47都道府県の食をテーマに、日替わりの定食や旬の素材をつかった晩ごはんが味わえるカフェレストラン。日本全国のクラフトビールや国産ワインをその生産者や器の作り手の想いとともに伝えます。



ヒカリエホール(9-10F)

渋谷駅に直結する、都内最大級のイベントホールです。1000㎡と300㎡の2つのホールは単独で使うことももちろん、一体的な利用も可能。最新の機能を備える天井高約7mの大空間は、ファッションショーや新品発表会など、さまざまなニーズに対応します。

東急シアターオーブ(11-16F)

渋谷ヒカリエの中核となる、客席数1,972席の世界でも最大級のミュージカル劇場です。「観やすさ」と「聴きやすさ」を追求した大劇場で、ミュージカルの醍醐味をお楽しみください。

<7月-10月 公演情報>

- ◆7月18日-8月5日 WEST SIDE STORY(ウエスト・サイド・ストーリー)
- ◆9月5日-17日 MILLION DOLLAR QUARTET(ミリオンダラー・カルテット)
- ◆10月6日-21日 ROMEO & JULIETTE(ロミオとジュリエット)



名称 渋谷 ヒカリエ
住所 〒150-8510 東京都渋谷区渋谷2-21-1
電話 03-5468-5892
HPアドレス <http://www.hikarie.jp/>
営業時間 ShinQs 10:00-21:00
Café & Restaurant 11:00-23:00
Creative Space 8/ 11:00-20:00
(※一部店舗は23:00まで)

基本 DATA

アクセス 東急田園都市線、東京メトロ副都心線「渋谷駅」15番出口直結
東急東横線、JR線、東京メトロ銀座線、京王井の頭線「渋谷駅」と2F連絡通路で直結



表参道ランチ&グルメ情報

76カフェ OMOTESANDO

 表参道の裏手、“原宿2丁目商店街”通称「ハラニ通り」にある、どこかミッドセンチュリーの雰囲気漂う細長い作りのナルーカフェ。

1階がカフェ、地下1階が美容室というユニークな造りのお店です。オープン時からカフェでご飯を食べる美容師も多く、いつしか美容師とカフェスタッフ、そしてお客さんが一緒にお茶や会話を楽しむスペースとなったそうです。

おしゃれなカフェでありながら、“表参道のまかない処”として、お腹いっぱい食べられるランチは17時までやっています。また、17時から20時までの「HappyHour」では、ケーキやコーヒー・紅茶・アルコールなどが“500円”で楽しめるとなっております。

また、お店の壁はギャラリーに提供されていて、ギャラリーが変わるとお店の雰囲気も変わるので、次にお店に行くのも楽しみになります。



お店の方から一言

全てのランチメニューにスープとドリンクが付き、女性のお客様には「スープおかわり」、男性のお客様に「ライス大盛り、おかわり無料」が好評です。
3日毎に変わる「本日のおすすめランチ」は、旬の食材や季節に合わせたお料理をジャンル問わずご提案しております。
17時までランチタイムを行っておりますので、ゆっくりとご利用いただけます。



統計情報

外国人患者様のご対応件数について

伊藤病院 広報室 テイクン

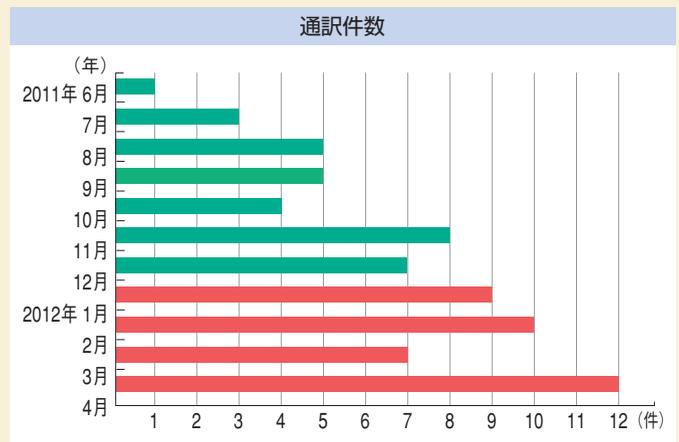
グローバル化が進んでいる中で日本の医療機関も積極的に海外からの取り組みを進めております。当院もその中の一つの施設として年々増え続ける外国の患者様の為に、約5年前から英語・中国語ホームページを増設、またパンフレットなどを英語・中国語で翻訳し外国人の患者様に用意しておりました。その結果、問い合わせと共に受診に来られる患者様も年々増加しています。

その上に患者様がより安心してご受診できるよう中国語と韓国語の通訳・翻訳担当として去年から私入職させていただきました。下のグラフですが、私が入職してからの外国人患者様の対応件数でございます。去年入職直後に起きた東日本大震災の影響で、最初の頃は1件しかなかったですが、徐々に増え続けているのが分かります。

現在受診中の患者様も、これから当院にお越しになる方も含め、私がお手伝いできることがあれば是非力になって行きたい所存でございます。

これからももっと詳しく、納得できる医療通訳をご提供できるよう頑張っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※お電話での問い合わせも承っておりますので、総合受付までお問い合わせください

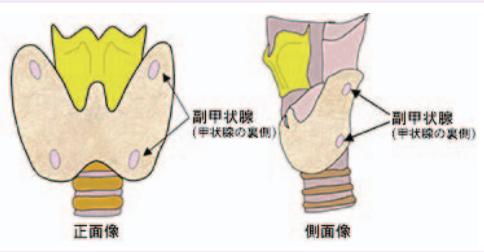


店名 76カフェ OMOTESANDO
 住所 〒150-0001 渋谷区神宮前4-9-2 神宮前MMビル1F
 電話 03-5786-1781
 HPアドレス www.nalu-style.com
 営業時間 月～木曜、日曜、祝日 / 11:00～23:00
 金曜、土曜、祝前日 / 11:00～24:00 ランチタイム / 11:00～17:00
 定休日 無休

基本
DATA

・正常な副甲状腺とは？

大きさは4～5mmぐらいで、甲状腺の背部にあり「副甲状腺ホルモン」をつくる臓器です。多くの人には4つあります。この臓器でつく



られる「副甲状腺ホルモン」は血液中のカルシウムの濃度が一定になるように調節しています。健康な人では、血液中のカルシウムが減ると、副甲状腺ホルモンが増加します。そうすると、骨に蓄えられているカルシウムが血液中に溶かし出されてカルシウムが正常な濃度にもどります。

・原発性副甲状腺機能亢進症とは？

副甲状腺から必要以上の副甲状腺ホルモンが分泌される結果、血液中のカルシウムが高くなる病気です。症状は、倦怠感・情緒不安定、多飲・多尿、尿路結石、骨粗鬆症と多岐にわたります。

・頻度について

以前は非常に稀な病気と考えられていましたが、健康診断などで血液内のカルシウムの測定が一般化するようになり発見される症例は増えています。一般に2000～4000人に1人がこの病気であると考えられ、またこの病気が閉経後の女性に多いことより、50歳以上の女性に限ると1000人に1人ぐらいの頻度と推定されます。

・原因について

副甲状腺の1つだけ(まれに2つ)が腫れて(病的副甲状腺)、どんどんホルモンをつくる腺腫が大半(約80-90%)で、4つの副甲状腺が必要以上にホルモンをつくる過形成は約10-15%です。癌は100人に1～2人と稀です。

・病的副甲状腺はどこにあるのか？

超音波検査とアイソトープ検査・CT検査で、8～9割程度病的な副甲状腺の位置がわかります。

・治療について

現在のところ手術による外科的切除が唯一の治療法です。

・手術方法

腺腫では、腫れた副甲状腺だけを摘出(取り除くこと)します。過形成ではすべての副甲状腺を探し出して摘出し、一番正常に近いと考えられる副甲状腺の一部を腕などに移植します。癌では、転移を防ぐために周囲組織を含めて広い範囲に取り除く必要があります。

・手術の合併症

甲状腺の周囲を扱いますので、反回神経麻痺(声帯を動かす神経で麻痺が生じると声がかれる)の可能性はありますが、副甲状腺癌などの特殊な場合を除いて非常にまれで、ほとんどは一過性です。その他、一般

超音波検査や細胞診で手術を要する疾患であることが判ると、その後は手術に向けて術前検査を開始します。ここでは甲状腺の悪性腫瘍で最も多い、甲状腺乳頭癌を例にご紹介します。乳頭癌の術前検査は大きく分けて、①病変の広がりを診る検査、②全身麻酔が安全に受けられるかを診る検査の二通りに分かれます。

病変の広がりにより、手術の際の甲状腺の切除範囲、リンパ節の郭清範囲、アイソトープ治療を始めとする手術後の追加治療の要否が異なります。乳頭癌は遠隔臓器に転移を認めることは少ないのですが、認められる中では肺が最も転移の起こりやすい場所となります。このため、胸部CTで肺転移の有無を確認することが重要になります。また、甲状腺周囲の臓器への影響を調べるために頸部CTも必要となります。気管、食道、反回神経、頸部の動静脈に浸潤が疑われないか否かにつき検査を行います。反回神経に近い腫瘍や術前から嚥声を認める場合には、声帯の動きに麻痺がないかについての診察を行います。

乳頭癌の転移として多いのは、周囲のリンパ節転移と甲状腺内転移です。このため、リンパ節転移が疑われる腫大したリンパ節がある場合や、甲状腺内に乳頭癌が疑われる腫瘍が複数ある場合には、その部分にも細胞診の追加検査が必要なことがあります。

全身麻酔が安全に受けられるかどうかの検査は、心電図、呼吸機能、胸部X線検査を行い、甲状腺疾患以外の合併症がないかどうかにつき確認します。不整脈などの心電図異常や胸部X線検査で心肥大が認められた場合には、循環器科を受診して術前に治療しておく疾患がないか、手術時に気をつけておくことがないかなどにつき確認をします。

また日頃から治療を受けている他疾患の治療状況は、手術を安全に受けさせていただくために非常に大切な情報となります。このようなことを踏まえて、安全にそして適切な手術を受けていただけるように準備を行い手術に臨みます。

的な手術と同様に、術後出血のために再度傷を開き止血しなければならぬこと(1%程度)、傷が化膿することなどの可能性があります。

・手術中の副甲状腺ホルモンの迅速測定について

当院では、手術中に副甲状腺ホルモンを測定(結果を得るまで20～30分)し、正しく病的副甲状腺を取り除けたかどうか判断する方法を取り入れております。副甲状腺は異所性腺(甲状腺の周囲になく胸のなかにあつたりする)の存在など、解剖学的多様性を持っています。この方法を導入し、病的副甲状腺を見逃さないように、さらに低侵襲手術を目指しております。

大須診療所からのお知らせ

斉藤理恵医師のご紹介

大須診療所は、昨年7月にアイソトープ検査・治療設備やCT装置などを装備した新施設に移転しました。そして、ますますの診療体制充実を目的に、2人の医師による診察を開始しております。

この度、防衛医大出の斉藤理恵医師(内科)が平成24年5月から、椿とともに水曜日外来を担当することとなりました。

今後も中京・東海地区における甲状腺疾患医療の中核施設として、質の高い専門診療を地域の皆様に、ご提供できるよう誠意努力して参ります。

院長 椿 秀三千



斉藤理恵医師

救急訓練を行いました

昨年11月、診療所内で胸痛から始まり意識を失った患者様に、救命措置を施したうえで連携病院に救急搬送をする事態が発生しました。全職員が協力し応急処置を施し、幸いに患者様は無事に回復されましたが、それらの不測な診療体験を経験したことより、椿院長を中心に全員で緊急ミーティングを行い、スムーズな救急対応が成されたか、反省するべき点はなかったかなどを鋭意検討しました。

当診療所には伊藤病院で毎年実施している人工呼吸・心臓マッサージなどの講習会に参加している職員もおりましたが、この経験を機に、緊急時の対応手順を再確認するべく、全職員で救急救命訓練を実施しました。訓練の結果、救急対応マニュアルの周知をはかるとともに、トイレ内のナースコールの表示を大きくする、緊急時の医薬品・医療材料をわかりやすく整備するなど具体的な改善も行うことができました。

今後も職員一同、救急医療の知識と技能の向上に努めてまいります。

吉村内科部長が愛知県産婦人科医会で講演しました

4月28日(土)に愛知県豊橋市で行われた「愛知県産婦人科医会 第1回学術研修会(三河ブロック)」において、伊藤病院の吉村弘内科部長が、「甲状腺と妊娠」をテーマに特別講演を行いました。

この地区における初めての研修会であることより、産婦人科医に限らず、内科医を中心に40名以上の実地医家の先生方が集まりました。講演内容には実際の症例に対する具体的な対処法も交え、伊藤病院と大須診療所の実際



吉村弘内科部長

健康に関する記事

たかが胃もたれ、されど胃もたれ

伊藤病院 内科医長 向笠 浩司

新年度が始まり、環境が変わり、飲食、飲酒をする機会が増え、胃の調子が悪いという方もいらっしゃるかもしれません。今回は胃もたれについてお話いたします。

胃は自律神経という神経でコントロールされています。自律神経には交感神経と副交感神経があり、ちょうどオンとオフのスイッチのように胃の機能のバランスを保っています。例えばストレスがかかると交感神経が活発になり、胃への血流は減少して、胃の動きが悪くなり、胃粘膜からの胃酸の分泌が減少するために、消化機能が悪化してしまい、食物が胃の中に溜まってしまいます。これが胃もたれです。

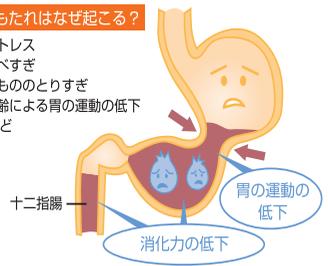
治療の原則は原因の除去です。食事を控えめに、油ものを減らす、胃壁を荒らしてしまうアルコール、コーヒーなどの摂取をさける、禁煙する(喫煙は血流障害により胃壁を荒らします)などが必要です。温めた牛乳は胃の粘膜を保護する作用があるのでおすすめです。精神的ストレスについては、自力でどうにもならないものも多いので、解決するのは難しいと思いますが、十分な睡眠をとったり、ゆっくり入浴したり、旅行や趣味などの気分転換をしたりするのが有効でしょう。

胃もたれを感じた時に、単純に胃薬を、といった安易な考えは禁物です。胃の症状のタイプによって、使う薬が変わってくるからです。最近の市販薬は様々な症状ごとに薬が販売されているので、軽症であれば利用するのもよいかもしれませんが、1週間ほど内服しても、改善がなければ専門の医療機関を受診した方がよいと思われます。

胃もたれの多くは良性的な状態に伴うものですが、まれに胃の壁が固くなっておきていることがあり、いわゆるスキルス型胃がんと呼ばれるものはそのひとつです。胃がんの多くは中高年以降の方に発症しますが、このタイプの胃がんは若年から中年でも発症することがあり、さらに進行が早いので、注意が必要です。症状が2週間以上持続するようなら、消化器科などを受診して、胃カメラなどの検査を受けられるのもよいかもしれません。

胃もたれはなぜ起こる？

- ・ストレス
- ・食べすぎ
- ・油ものとりすぎ
- ・加齢による胃の運動の低下など



データに基づく専門診療の内容を詳細に解説しました。講演後には、多数のご質問をいただき、盛会のうちに講演会は終了いたしました。

伊藤病院1Fに当診療所への直通電話を設置しております。ご質問などございましたら、お気軽にお電話ください。

大須診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59

電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308 HP：http://osu-shinryoujyo.jp/

明治神宮参拝

当院は明治神宮の「表参道」に位置しており、患者様と職員の健康と安全を明治神宮に祈願することが、昭和34年に始まって以来の重要な病院行事となっております。

今年も、4月3日(火)に職員全員で明治神宮に参拝いたしました。当日は台風なみの強風となる予報でしたが、無事参拝を終えることができました。

また、今年は当院創立75周年と節目の年ですが、明治神宮でも明治天皇が崩御されて100年になるということで、さまざまな記念行事が企画されています。



渋谷表参道Women's Runに参加しました

3月9日に第2回渋谷表参道Women's Runが開催されました。

当日は薄曇りで少し肌寒い天気でしたが、4000人を超える女性ランナーが明治神宮周辺の10Kmコースを疾走しました。

当院からもフルマラソン経験者から初挑戦者まで7名が参加し、折り返し地点となる伊藤病院前では院長をはじめ、多数の職員で応援いたしました。

通行規制された表参道を華やかな姿の女性ランナーが埋め尽くし、通常はランニング禁止の明治神宮の中を走り抜ける情景はまさに圧巻でした。

10Kmといってもアップダウンがきつく、タフなコースではありませんでしたが、参加者全員が無事完走でき、充実感と達成感のなかで「来年も参加したい!」と笑顔で終える事ができました。



DSコーディネーター資格認定!

当院では年間約1900例以上の甲状腺患者様の手術を行っておりますが、約1週間の入院が余儀なくされております。一方、他臓器分野での外科系手術の多くは「日帰り・短期滞在手術」が可能となり、社会のニーズも増加しています。当院でも入院期間短縮が患者様や社会の利益と考え、実現化にむけた業務改善に取り組んでいます。その一環として2005年3月より、定期的に『日本短期滞在外科手術研究会』に外科医師、看護師が参加しています。この研究会では、受診、検査、手術、術後のトータルケアのスムーズな流れを患者様に提供するための、DSコーディネーター認定を行っています。2011年12月当院手術室勤務、本田直子看護師が同認定を受けました。他分野の診療、手術へのコーディネート術を積極的に取り入れ、より良い甲状腺診療を患者様に提供出来るよう努力を続けて参ります。



伊藤病院館内電気設備点検について

当院では、患者様に安心安全に通院していただけるよう、毎年、館内全電気設備の定期点検を実施しております。

病院には電子カルテをはじめ、様々な医療機器がございますが、電気設備の点検は一度全館の停電をかけないと実施出来ません。入院患者様の負担にならないように消灯後の夜9時以降に停電を行い、医療機器は継続的に使用できるように、また、出来るだけ停電時間を短くするなどの工夫をしました。

併せて、万が一の停電時に患者様の大切なカルテ情報を守るため機能する無停電電源装置の試験も同時に行いました。トラブルもなく、翌朝4時に予定通りの点検を全て完了しました。

昨年の東日本大震災の際は、当院は大きな影響はございませんでしたが、今後も患者様の安全のために設備の点検保守だけでなく、停電時にもスムーズに対応できるよう、マニュアル整備等に努めて参ります。



全館の電源を落とした瞬間の様子

保育ボランティアのご紹介

前号でご紹介しましたとおり、当院では、毎週金曜日に田園調布ボランティアセンターと遠藤ボランティアグループにご協力いただき、診察の間小さなお子様をお預かりしています。この度、田園調布ボランティアセンターの葛岡様より、当院でのボランティア活動が始まった経緯について振り返っていただきましたので、ご紹介させていただきます。

病院ボランティア発足とその経緯

田園調布ボランティアセンター 葛岡和子

先代病院長 伊藤國彦先生は、慶大医学部の客員教授でいらしたので、慶応病院で働く多くのボランティアをよくご存知でした。そして「我が病院にもボランティアを！！」との願望を強く持っておられました。思いは募り、親しくされていた慶大医学部の教授で当時伊藤病院の病理を担当されていた細田先生に相談されました。細田先生は院長先生の思いに感動され、田園調布ボランティアセンターの会員に話されました。この話を受けて、二名のボランティアが、院長先生にお会い致しました。昭和五十六年二月のことでした。二名は院長先生の理念「病む者の心をボランティアの心で癒して欲しい」との深い内容に心より賛同し早速二名によるボランティア活動が始まりました。仕事は主に長期間入院されている方のベッドサイドでお話することでした。ボランティアを信頼して下さっている病院の配慮を感じました。その後伝え聞いた方々から伊藤病院でぜひボランティアを！！との希望の方が現われ、翌年はこの方々二、三名と田園調布ボランティアセンターから数名の方が参加され、キッズコーナーも設けられました。

来院者は増加の一途を辿り、まもなく病院の改築建設が始まりベッドサイドの仕事に終止符が打たれ、若いお母様の来院の際にお連れになる小さい方々を預かるキッズコーナーは多忙になり人手不足を感じる頃、幸いにも遠藤ボランティアグループから、多くのよく訓練されたボランティアの方々に参加して頂いたことは、本当に有難いことでした。現在は、二つのグループでキッズコーナーの仕事をしております。

省みますと、私達ボランティアは、ベッドサイドに於いては、寝たきりの苦しい日々を送っておられる方々から、多く

の尊い教えを頂きました。

「いのち」に就いてのお話に深い感銘を受けましたことは、今になっても忘れることは出来ません。またキッズコーナーでは、病気を抱え乍らも家族を守り、小さい方々を育てていらっしゃるお姿に感動し、お子様との交流を通じて、「何かお母様のお役に立てれば嬉しい」という思いを抱いてボランティアとして働いております。私達は総てに於いて平凡な人間ですが、マザーテレサの祈り「主よ、今日『いちにち』の私達の小さな手・足・声・心をお望みの所でお使い頂きますように・・・」と念じ乍ら仕事をしています。

伊藤病院院長の公一先生をはじめ、病院スタッフの皆様方の温かい支援を頂き乍らの「ボランティア活動」は、今年で三十二年目を迎えました。心からの感謝を申し上げます。

空調設定について

当院では、節電の観点より、空調設備を下記の設定温度としております。

なお、調整にあたりましては、院内の混雑状況や体感温度も考慮し、特に冬季の混雑時は25℃を上回らないよう冷房も併用して対応しております。

甲状腺疾患特有のご病状により、暑く感じたり、逆に寒く感じられる方もいらっしゃるかと存じますが、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

夏季 28℃ 冬季 20℃

伊藤病院は開院75周年を迎えます

当院は、昭和12年(1937年)に初代院長 伊藤尹が開設し、今年10月で開院75周年を迎えます。

次号Voiceは一足早い9月の発行ですが、75周年記念特別号として伊藤病院のこれまでの歩みやさまざまな統計情報のご紹介などの企画を準備しております。

ぜひまたご来院の際にはVoiceを手にとりご覧いただけるよう、広報誌委員会一同、精一杯記事をまとめてまいりますので、どうぞお楽しみに！

山陽堂書店の壁画「傘の穴は一番星」

表参道と青山通り交差点に位置する山陽堂書店は明治24年(1891年)に創設されました。昭和38年(1963年)東京オリンピックのため青山通り道路拡幅で山陽堂は3分の2が削られてしまいましたが、残った3分の1に叙情的な壁画の贈り物がありました。当時の新潮社社長が建築途中の山陽堂の前を通り、週刊新潮表紙を飾っていた谷内六郎氏の絵を壁画にしたらと考えたようです。昭和38年(1963年)に完成した黄色い背景の赤い風船の絵が壁画第一号、昭和50年(1975年)に現在の「傘の穴は一番星」に変わりました。今年はオリンピック年ですが、東京オリンピックのために拡幅された青山通りから六郎さんの壁画を眺めて懐かしき思い出を思い起こさせてみてはいかがでしょうか？(診療情報管理室 真原)



編集後記

心も体も開放的になる夏がやってきました!

花火に祭に甲子園!そして今年はロンドンオリンピック!イベントが多い季節ですね。

私はスポーツをやるのも見るのも好きなので、とても楽しみです。また、夏は自然に触れ合う大チャンスです!海や山でアウトドアを楽しみ、普段の生活をリフレッシュしてみたいかがでしょうか?

当院も秋に創立75周年を迎えます。年月を重ね、多くの経験から積み上げてきたものをさらなる発展へとつなげていけたらと思います。それと同時にVoiceも共に成長し続けていきたいと思っています。

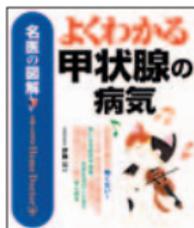
一人でも多くの方の目に触れていただけるよう一生懸命作ります!

それでは、Voice秋号もお楽しみに!

(西村)

甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご利用ください。



「よくわかる甲状腺の病気」

著者：伊藤公一
定価：1,360円(税込)
発行：主婦と生活社



「甲状腺の病気」

速やかな回復のための最新知識
監修：伊藤公一
定価：1,365円(税込)
発行：法研



「甲状腺の病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,260円(税込)
発行：講談社



伊藤公一のバセドウ病と診断されたときにまず読む本

著者：伊藤公一
定価：1,470円(税込)
発行：主婦の友社



「甲状腺の病気の最新治療

パセドウ病・橋本病・甲状腺腫瘍ほか
監修：伊藤公一
定価：1,470円(税込)
発行：主婦の友社



新刊

「図解 甲状腺の病気がよくわかる最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博
定価：1,470円(税込)
発行：日東書院

発行 2012年6月1日発行 第38号 伊藤病院広報誌委員会

ITO
HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6
TEL : 03-3402-7411
FAX : 03-3402-7415
URL : <http://ito-hospital.jp>